

のうきよう ちゃんべつ

謹賀新年

'92 1 No.205

年頭のごあいさつ	4
申年生まれ大集合	8
わが家の人気者 彩加は何でも歌えるよ	12
根室管内農政確立研究会開催	13
乳牛改良同志会20周年記念式典	14
農協婦人部理事者との懇談会	15
根釧合同農協婦人部研修会	16
第40回全道農協青年部大会	17
平成三年度生乳生産目標を修正	18
理事会の経過／解決ファックスコーナー	19
今月のフォトアルバム	20



新春の

およまふごびを

律しよげます

本年も相変わらぬご厚誼を
お礼申し上げます

平成四年元旦



中標津町農業協同組合



後方左より	理事 鈴木 祥幹、久我 良夫、齊藤 哲雄、太田 功、中浦 健雄、上村 重光、渡辺 善行	理事 太田 直行
前方左より	代表理事 白田 慶和、 当農委員長 理事 鷺見 孝、 副組合長 理事 山本 雪信、 組合長理事 見玉 光彦、	監事 管理購買 委員長理事 佐々木政行、 農委員長 理事 竹下 日吉



輝がしい新年を迎えて

中標津町農業協同組合組合長理事 児 玉 光 彦

明けましておめでとうございませす。

平成四年（一九九二）の新年を、ご家族お揃いでご健勝にてお迎えの事と心よりお慶び申し上げます。ソ連のクーデターに始まる国家社会主義の崩壊、バルト三国の独立が叫ばれ大きくゆれ動き、農業情勢にあつては、ガット新ランド農業交渉は厳しい状況で「例外なき関税化」が最終案に盛込まれる可能性が強く、我が国は、ぎりぎりの選択を迫られる状況下で年の瀬を迎えました。

米はもとより、澱粉、脱脂粉乳等問題は、どうなるかであります。さて当地域の春先は、天候に恵まれ、畑作、牧草の成育も良く、牧草においては、乾草収穫時に雨が、多く、ご苦労がありました。が、総体的に豊作の年になりました。組合員皆様のご努力に対し敬意を表します。酪農は飲用乳の消費

の伸び、本州の生産の伸びの鈍感などにより、生乳生産の拡大は望めましたが、四月より牛肉自由化の影響は、個体価格に大きく左右し、ヌレ子を始め、廃用牛にいたるまで大暴落となり厳しい一年でありました。

馬鈴しょ、ビート共、春先の天候に恵まれ、初期の生育は順調に進み、収量、ライマン価、根中糖分は良く、農協合理化澱粉工場も四十三万俵強を処理致しました。心よりお礼申し上げます。

今年も農業を取り巻く情勢は新ウルグアイ・ラウンドがどの様に決着するか先行き不透明の中にあつて、一層厳しい状況で推移することが予測されます。

酪農は個体価格の暴落を早期回復を願う努力を致さねばと考えます。

生乳生産は組合員皆様の生産可能な意向調査の数量を目安に生産

出来る状況にあり一抹の望みであります。

畑作においても、指示価格の引き下げ、生産資材の値上りなど、きびしい状況下にありますが、多収穫、良質安全をモットーに努力願いますと共に、加工生食の販売に向けて一層の努力をと考えます。

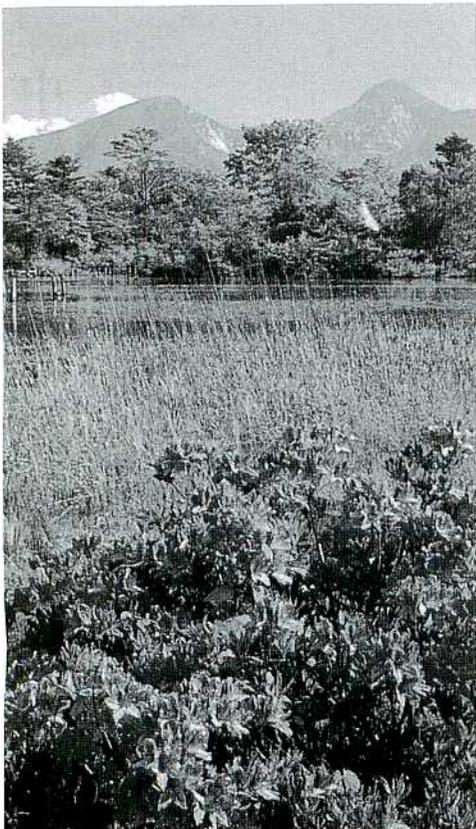
平成四年もアメリカを始め、海外よりの市場開放圧力は強まっております。

大きく国際化時代に向かつて前進が考えられます。また、国際化に対応した農業、農協の確立が急務であります。

多くの課題はありますが、役員一丸となつて全力を傾注し、その解決に向かつて努力してまいります。

今年もご指導、ご協力を心よりお願い申し上げます。

最後に、平成四年（一九九二）が組合員ご家族の皆様にとつてすばらしい良い年であります様、心よりご祈念致しましてご挨拶と致します。





年頭のけいあつわし

北海道農業協同組合中央会会長 床 鍋 繁 則

謹しんで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、東欧を中心とした世界的な情勢変化、ガット・ウルグアイラウンド農業交渉、国内においては政権の交替など、内外共に課題の多い年でありました。

本道の作柄は、一部地域に低温と日照不足などによる成育被害がありました。総体では平年作を確保できましたことは、皆様のご努力によるものであり、ご同慶に存じ深く敬意を表します。

本道農業は、我が国食料基地として主業農家の比率が極めて高く、基本農政の方向が農家経済、しいては北海道経済に大きい影響を与えるものであることは、申し上げるまでもありません。

ご承知のように、貿易収支の大幅黒字を背景として、アメリカを

はじめ諸外国から農畜産物の市場開放が厳しく迫られておりますが、米を始めとする農畜産物を標的としたこの波は、我が国農業の崩壊を招きかねない重大な問題であり、不退転の決意で阻止運動を展開しているところであります。

昨年は、今置かれている農業・農協の情勢に対処し、新しい時代への方向を確認するため、第二十回北海道農協大会を開催したところであります。

これはすでに実践中の「北海道農業基本構想」をベースとして、

「食料基地北海道農業の確立宣言」

を行なったものであり、クリーン

農業の展開によって安全で高品質

な農畜産物を、低コストで供給す

ることを第一に、そのための生産

組織や農協組織はどうあるべきか

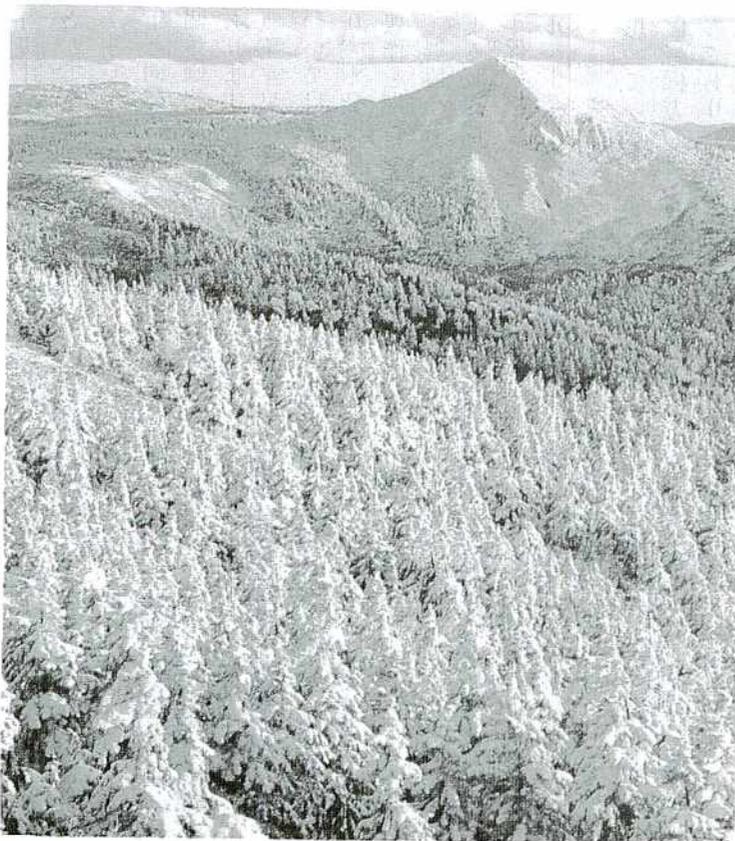
を検討し、さらに働きがいある本

道農業を目指した農政の確立を求めるとともに、CI活動を通じた農協のイメージアップと意識改革によって、組合員との結び付きは勿

論のこと、競争力ある農協を創つていこうということでありませう。

これら農協大会の確認事項実践を出发点として、新年を迎え決意を新たにしております。

本年こそ豊饒の年であり、組合員の皆様のご健勝であることを心からお祈りして年頭のご挨拶と致します。





中標津町農業協同組合参事 五百木 忠雄

経営の分析と収益性の高い合理的な計画を

明けましておめでとございます。

平成四年の新春を、ご健勝にてお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、牛肉輸入自由化の影響を受け個体価格が暴落し、酪農家にとっては大変な年でありました。しかし牛乳については、幸い搾れる情勢にあり、前年より八パーセント以上の高い伸び率になっ

ております。

畑作については、雨量が多く心配をしておりますが、まずまずの作柄で澱粉工場も生産者のご協力により、四十三万四千俵余りを処理することができましたので、共計澱粉の融資も政府価格は下がりましたが、前年と同額の融資に決まりました。また回収率も良く、

当初計画を上回る成果をあげるこ
とができました。

さて今年、牛乳については昨年と同様搾れる状況にありますが、個体価格は期待ができない情勢にあります。したがって、搾り重視の経営が肝要と思います。畑作についてはまず土づくりが大切であり、十分堆肥を入れて今年もまた豊作を期待します。

農協事業は、個体価格の暴落による販売取扱い収益の減少や、乳牛保留資金などの利子補給、酪農へルパー基金の積立などによる金融取

益の減少など、経営収支の大変厳しい部門もありますが、組合全体の総合収支の中で、何とか当初計画を達成すべく努力をしております。

組合員の皆さんも、新年度営農計画の策定に入られるわけですが、情勢が厳しいだけに英知をしばつて経営総体を分析し、収益性の高い合理的な営農計画を樹立して実行して下さい。

寒さに向かつてまいります、組合員皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



北根室地区農業改良普及所長 雨野 和夫

現状を十分踏まえた営農を

明けましておめでとございます。平成四年の新春を迎え心からお祝い申し上げます。

昨年の天候は異常気象と思われる時期もあり、大変心配されましたが、全般的にはまずまずの天候となり馬鈴しよ、てん菜、牧草など共に平年を上回る収量となりました。また、馬鈴しよのでん粉価、て

ん菜の糖分などの成分も高く品質の点でも向上が図られたところです。更に牛乳の生産に於いても、根

室管内では最高の伸びを示していますし、数年来低下の一途をたどっていた乳成分(無脂固形分)が、昨年は向上されるなど、農畜産物の生産及び品質の向上については、最も成果の上があった年でないかと

思っているところです。これも偏りに皆様方の日頃の努力によるところであり、敬意を表するところで。しかし、昨年四月より実施された牛肉の輸入自由化などによる、輸入牛肉の多量な在庫、これなどの影響による牡牝、肉用牛価格の低迷、更に府県に於ける酪農環境の変化による乳牛飼養頭数の減少、これらに伴った乳牛個体の需要の低下など、本道の酪農については厳しい状況にあります。

また、これらの要因を考えますと早急に改善されて良くなる要素

も見あたらないところです。したがって当面は現状を十分踏まえた営農を進めることが肝要かと存じます。今日迄も再三にわたって云われている、低コスト生産に努めることは勿論ですが、更に生産を高め酪農にあっては牛乳販売代金で農業経営費並びに家計費を賄い、個体販売代金はボーナスとした営農計画を樹てて戴ければと思っております。

今年も健康に十分留意され稔り農かな年であることをご祈念し、新年のご挨拶といたします。



若いエネルギーと 力で立ち向かおう

中標津町農業協同組合青年部部长 金子 安一

明けましておめでとございます。昨年は、牛肉の自由化で幕が開きました。四月の自由化と共に、初生トク価格の下落が急速に進み、秋には三分の一まで、乳牛全体の価格も軒並み下がり、初妊牛などは前年より十万〜十五万円の下げとなつてしまい、組勘の内容も大変悪い状況になりました。

自由化は始まったばかりで、この程度なのです。今年、来年と、尚一層厳しい年になると思います。しかし、牛乳の消費は、本州の消費の伸びと共に、本州の飲用向け生産量の伸び悩みなどから品不足となり、増産基調の中で生産でき、今後への大きな力となりました。畑作関係では、特に馬鈴しょに

ついては、天候に恵まれ良かったのですが、秋の収穫時の雨、価格低迷、消費の伸び悩みなどで大変だったと思います。こうした状況にあつて、我々青年部は、牛乳、牛肉、乳製品、伯爵いもの消費拡大のため、地元はもとより、札幌、別海と積極的にPR活動を展開してまいりました。

対外的には、異業種交流に力を入れ、「じゃがいも伯爵まつり&ふれあい広場」については、商工会青年部との協力のもと、春のいもまさから始まり、秋のまつりまで、

約半年の事業でありましたが、天候にも恵まれ大成功に終わり、お客様から大変喜んでもらうことが出来ました。今年は、ガット・ウルグアイラウンドのアメリカの考え方一つにより、揺れ動く日本農業の中、自分たちが今何をすべきであるかを真剣に考え、行動して行く年にあると思います。

我々青年部は、農協組織の一員として、あらゆる事態に対処して行かなければなりません。若いエネルギーと力を駆使し、立ち向かうではありませんか。



「いきいき、はつらつ」 婦人を核として

中標津町農業協同組合婦人部部长 笠原 嬉代美

明けましておめでとございます。

昨年は対日農産物自由化の影響を受け、私達農村も乳価下げに続き、酪農準主産物とも言うべき仔牛価額統落に、育児教育など家計を担う主婦の溜息が聞かれました。

この厳しい中で皆様のパワーと普段の努力で切り抜け、無事新年

を迎えられた事をお喜び申し上げます。

平成四年の始めに思う事は、背水の陣とまでは行かないまでも、いかなる事態にも後に退かない、前進、また前進と開拓時代の不屈の精神を蘇らせたいと思います。

昨年牛飼いは、最重要な草の収穫期が悪天続きで大変でしたが、

多少質の低下はあるものの、量の点ではまあまあ様ですね。

畑作の方、特に馬鈴しょは、成長期の不順で防除作業も大変であつたと思います。

その様な状況の中で、婦人部活動に対する皆様の積極的なご協力には、頭が下がります。ありがとうございました。

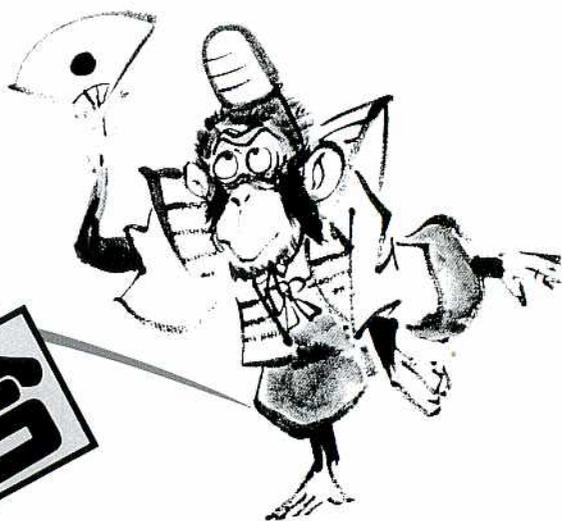
農協婦人部も四十周年を迎え、昨年十一月八日〜九日と十勝川のホテルで、第三十九回全道農協婦人部大会が開催されました。テーマは、「いきいき婦人部、はつら

つ仲間づくりをめざして」と言うもので、各分科会に分かれ、私も勉強の機会を得ました。

今、国の内外を問わず、農業の厳しさは現実のものと言われております。その中であつて、せめて婦人部は、「いきいき、はつらつ」しつかり足元を見つめて、農協婦人部を私達相互の核として、地域発展に努めたいものでございます。

申年生まれ

大集合



今年の干支は「申」、申年にちなんで組合員皆様の中から、一
 家族に二人以上の申年生まれの方、十八組を紹介いたします。
 (1) 生年月日 (2) 今年の抱負)

相沢進司さん

- 1 昭和三十一年七月十五日
 - 2 夢のある酪農を!
- ### 教子さん
- 1 昭和三十一年五月十五日
 - 2 家族皆んな健康で。
- ### 豊子さん
- 1 大正九年四月五日
 - 2 踊り、ゲートボールで、いつまでも若々しく。

金子ひろみさん(金子安一さん宅)

- 1 昭和三十一年三月三日
- 2 笑いの絶えない家族でありたい。

雄司さん

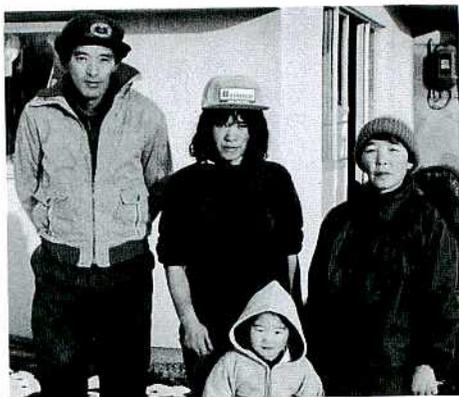
- 1 昭和五十五年九月十日
 - 2 今年も勉強がんばるぞ!
- ### すみ子さん

- 1 昭和七年七月二十日
- 2 健康で今年も野菜作りに頑張る。

久我敏也さん

- 1 昭和三十一年十二月十三日
 - 2 暗い酪農情勢を明るく!
- ### 貞江さん

- 1 昭和三十一年一月一日
 - 2 早く一人前になりたい!
- ### 愛子さん
- 1 昭和七年二月十一日
 - 2 家族全員が健康で。





菊地 良さん

- ① 昭和七年十月一日
- ② 早く孫の顔が見たい。
善次さん
- ① 明治四十一年三月十五日
- ② いつまでも健康で長生きしたい。



清原孝志さん(清原賢一さん宅)

- ① 昭和四十三年二月二日
- ② 今年は乳量四〇〇tを実現に向け頑張る。
クニ子さん
- ① 昭和十九年十二月二十日
- ② 汗を流して値のある年に。



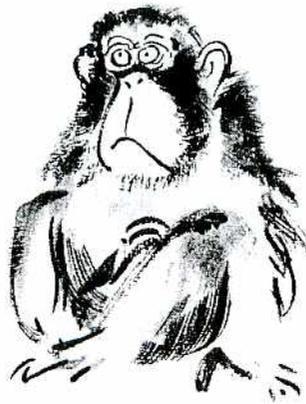
今井敏洋さん(今井照男さん宅)

- ① 昭和五十五年六月六日
- ② 勉強に集中して頑張る。
キヨ子さん
- ① 大正九年四月一日
- ② 酪農は厳しいというが、良い年であるように。



滝本 広さん

- ① 昭和三十一年十月十二日
- ② やるっきやない!
裕子さん
- ① 昭和三十一年二月四日
- ② やるっきやない!



熊倉和彦さん

- ① 昭和三十一年四月三日
- ② もうかる経営に。
タケさん
- ① 昭和七年一月二十日
- ② 元気で孫を育てあげたい。



西崎敬造さん

- ① 昭和三十一年十一月十八日
 - ② 困った、困ったと言わないように。
- 敬子さん
- ① 昭和七年四月五日
 - ② 家族が健康で幸せに。



弾正原正春さん

- ① 昭和七年十一月八日
 - ② 政策の改革に向け、希望の持てる農政に。
- 正さん
- ① 昭和三十一年九月二十八日
 - ② カネになる牛づくりを！



八木原明治郎さん

- ① 昭和七年十二月七日
 - ② 石橋は叩いても渡れ
- 政則さん
- ① 昭和三十一年九月一日
 - ② 猿も木から落ちないように。



室井祐二さん

- ① 昭和三十一年一月十日
 - ② 今年こそは頑張るぞ。
- トキさん
- ① 大正九年四月十六日
 - ② 三人の孫に囲まれ幸せです。



福嶋昭憲さん

- ① 昭和十九年八月二十七日
 - ② 家族にボーナスのやれる経営に。
- キヨエさん
- ① 昭和十九年十二月十七日
 - ② 後継者に期待を込めて。



松田昌介さん

- ① 昭和七年九月二十九日
 - ② 良い年でありますように。
- 亜弓さん
- ① 昭和五十五年一月十八日
 - ② 勉強にスポーツに頑張る。

小林トミ子さん(小林茂さん宅)

- ① 昭和七年十一月二十日
 - ② 健康で明るい家庭、そして野菜作りを!
- 和之さん
- ① 昭和五十五年六月七日
 - ② 野球のレギュラーを目指す。

佐藤美奈子さん(佐藤一広さん宅)

- ① 昭和五十五年二月二十六日
 - ② 今年は中学生。勉強、スポーツに頑張る。
- 留美子さん
- ① 昭和五十五年二月二十六日
 - ② 今年は中学生。勉強、スポーツに頑張る。



小沼佐太男さん(小沼悟さん宅)

- ① 大正九年四月三日
 - ② 保護司の職務を忠実に、たくさんの人を更正させたい。
- 孝さん
- ① 昭和五十五年五月三日
 - ② 六年生になるので、勉強、スポーツに頑張りたい。

保科 清さん

- ① 昭和七年七月十日
 - ② 先に見える農業を!
- 隆さん
- ① 昭和三十一年四月五日
 - ② こういう時代だからこそ、家族の団結が必要。



わが家の人気者!

彩加は
何でも
歌えるよ

北中地区
大内勝利・佳子さんご夫妻
長女彩加ちゃん(2歳)



おばあちゃんが買ってくれた
三輪車はお気に入り

あけましておめでとうございませう。我家の人気者シリーズ、今年も張り切ってご紹介していきますので、よろしくお願ひ致します。

まず、今年最初にご紹介するのは、昨年七五三を迎えたオチャメさん、大内彩加ちゃんです。人懐っこくて、優しくしてくれる人は誰でも大好き。特に膝の上にチョコンと座り、本を読んでもらうのが大好きな彩加ちゃん。歌は得意中の得意でとっても上手。レパードリーも数多し。

おしゃべりも早くから覚え、すっかり大人と対等。ある時、勝利さんが服を脱ぎっぱなしにしていると「パパだめでちよ。だからなあってママ怒ってたよ」なんてパ

バも彩加ちゃんに怒られる始末。昨年十一月に妹の捺生ちゃんが生まれ、ますますお姉ちゃんぶりを発揮。捺生ちゃんのオムツの後片付けや、みんなの食器の片付けもお手伝いする彩加ちゃんはおりこうさん。



「ママニわい」というけれど
やっぱりママは大好き

この日「七匹のこやぎ」のビデオを見せてくれ、おおかみが出てくると恐ろしさのあまり、カーテンに隠れながら見ている様子がなんともかわいらしい。TVを見る目は真剣そのもので、「TVを見ていて泣いてしまったり、のめり込んじゃうのね。そして、本でもビデオでもハッピースピーエンドじゃないと嫌なの。好きな物? 穀類はあまり食べないけれど、塩辛やさしみ、干物と



かお酒のつまみみたいのが好きなのよ」と笑って話すお母さんの佳子さん。(これは一体誰の影響かな? まっ、いいか)

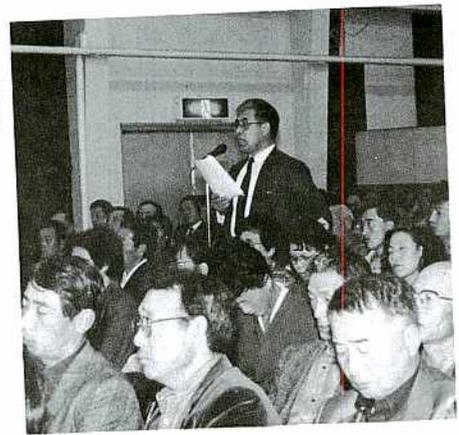
今年も捺生ちゃんも増え、ますます賑わう大内さん一家。今年も良い年でありますように。

根室地区酪農対策協議会、根室管内組合長会主催による、根室管内農政確立研究会が十一月三十日、中標津町公民館大会議室において開催されました。



将来展望のもてる

酪農郷を築くために



根室管内農政確立

研究会を開催

取り巻く多くの問題が山積しており、これらの状況を改善し、将来展望のもてる酪農郷を築くため地元選出国會議員（岡田利春氏、北村直人氏、武部勤氏、鈴木宗男氏、中川昭一氏秘書）を交え開催された。

初めに課題説明が行なわれ、

① 生産費調査および算定方法の問題点。

② 農業基本法の見直しに関する検討。

③ 地域農業生産基盤確立方策の検討。

の三点についての対策事項が説明された。その後、国會議員との意見交換が行なわれ、当地域における酪農状況を踏まえての課題提供が酪対副会長積毅氏、酪対委員松下氏、竹下氏からそれぞれ、今の酪農における危機感、以前のオイルショックを越えるもの、牛肉の自由化による影響、乳価算定基準の改正、ヘルパー制度を利用出来るだけの乳価の保証、生産資材の国際価格差の改善、農業基本法の見直しなど、出席された国會議員各氏に力強く要望した。

この研究会は、保証乳価の過去六年にわたる十五・八%引き下げ、消費税導入、生産資材価格の高値安定、乳牛価格の低落などにより酪農経営が悪化している中、生産者は、計画生産下に置かれながらも消費者ニーズに応えるべく良質乳の安定的供給を図るため、自主規制措置の強化とともに生産性の向上、コスト引き下げによって経営安定のための自衛的対応を図ってきたが、その努力も限界に達している。さらに、ガット・ウルグアイ・ラウンド農業交渉の決着方向、中長期的な需給の不透明さ、生産と消費を結ぶ流通問題など酪農を

また、一般の参加者からも、酪農に対する危機感がさらにつけ加えられ、会場は参加した約二五十人の熱気に包まれていた。

中標津乳牛改良同志会20周年記念式典が開催

さらに飛躍を誓って

中標津乳牛改良同志会 創立20周年記念式典及び祝賀会



21世紀に向けて、さらに飛躍を誓って挨拶する土井上会長

中標津乳牛改良同志会（土井上昭男会長）では、乳牛の改良を志す同志三十数人で発足した同志会が、平成三年で二十年を迎えた事を記念し、十二月十二日寿宴を会場に「中標津乳牛改良同志会創立二十周年記念式典」を開催しました。

式典に先立ち、この同志会発足から今日に至るまでの発展に功績された歴代会長五人（初代会長 横田国雄氏、二代 田中輝繁氏、三代 岡部実氏、四代 杉本匡視氏、五代 佐藤滋氏）にそれぞれ感謝状が授与され、会長より先輩諸氏の努力と会の活動実績により、この二十年の間オイルショック、高度成長、生産調整、農産物自由化など、波乱の多い時代であったが現在会員も一二二人と大きな会に発展し、全道レベル迄に成果を上げる事が出来た事は農協関係機関の支援であると共に、今後この会を損う事なく、二十一世紀に向けて益々躍進させ、ここに



同志会発展に功績された歴代会長5人

皆様のご支援により式典が開催出来たお礼挨拶及び式典経過報告があり、続いて進藤町長、児玉組合長、根室改良協議会山田会長よりそれぞれ来賓祝辞で祝賀会に入りました。招待者に発足当時の役員、前役員の懐かしい顔が揃い、当の同志会活動の思い出話に時を忘れ、一つ一つ回想しながら続きました。

今回の二十周年を記念し同志会では記念誌を作製し、二十年間の歩みを記録に残し、今後若い後継者の参考にと日夜努力によって完成し、この二十周年を境に会員が益々結束し、活発な活動によって地域産業に貢献出来る同志会にすべき誓いを新たにしていきました。



祝賀会にも話しに花が咲く

農協婦人部

理事者との懇談会を開催

柔軟性をもった考え方で
意識改革を



去る十二月十一日、山本副組合長、鷺見営農委員長、竹下酪農委員長を招き、婦人部員三十七人が集まり、婦人部員と理事者との懇談会が実施されました。

懇談会では、①人工授精業務、②生乳検査業務、③ストアー業務、④畜産販売業務、酪農情勢、婦人の役割についてなど話し合われました。

まず、人工授精業務については、早く来てほしく連絡しても、授精師に伝わっていない事がある。

生乳検査業務については、乳質検査結果を後からトラブルのないよう、職員の名前も添えていただきました。との希望の意見が出ていました。

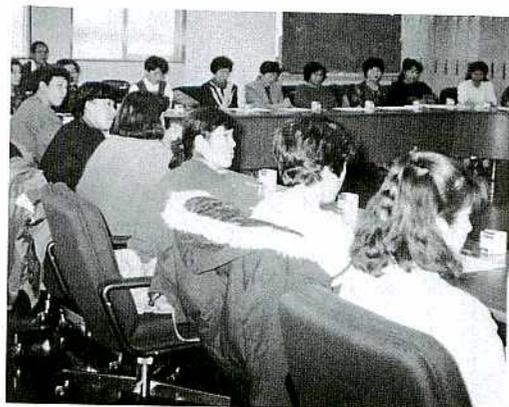
また、検査結果は、組合員自ら農協に電話をかけるのが、基本という事を確認致しました。

ストアー業務については、荷物が多いお客様へのサービスを配慮していただきたいなどの要望があげられました。

それから、農家経営を移譲した方々たちが入居できるセンターの設置要請もありました。

婦人部からの意見や要望に対し、理事者は、

●自分、そして家族の健康管理をしっかりすることが大切。また、女性の年金制度も発足したので、自分の老後についてもしっかりと



した考えを持ってほしい。

●経営に無駄がないか再検討してほしい。

●情報を仕入れ、一つの事にこだわらず柔軟性を持った考え方を、また、意識改革が必要。などのアドバイスをいただきました。

これからの農業について、まだまだ話し合いたいところでしたが、二時間という時間はあっという間に過ぎてしまいました。しかし、いろいろな意見、アドバイスをいただき、大盛会の懇談会となりました。

「心の豊かさを求めて」をテーマに、 明るい豊かな農村づくりを。

根釧合同農協婦人部
研修会

若妻の主張で、弾正原真由美さん発表



会に比べ、内容に新鮮さを感じられました。

また、今年は若妻の主張コンクールで、優秀賞に入賞した弾正原真由美さんの発表する場もあり、なかなかこのような研修会に出席する方が少ない若妻部員の方も数人出席しました。

第一日目は、開会後間もなく、家の光大会が行なわれ、「家の光」記事活用体験発表に引き続き、弾正原さんの発表も行なわれました。発表前はドキドキしていたようですが、落ちついた発表で、最後には皆さんから大きな拍手をいただきました。

次に今回の研修テーマ「心の豊かさを求めて」を柱に各分科会ごとに討議が、続いて全体討議が行なわれました。

平成三年度、根釧合同農協婦人部研修会が十一月二十八日、二十九日、弟子屈町川湯温泉「川湯観光ホテル」で開催され、中標津町農協婦人部員十三人が参加しました。この研修会は、昨年まで各地区研修会として実施しており、根釧合同での研修会は初の試みのことで、毎年マンネリ化していた研修

いなどなかなか難しいものがあるようですが、

●心が健全でなければ幸せとは言えない。しかし私達には動物の誕生など、農家ならではの變動がある。

●健康が一番（手作り食品、ダンスなどの趣味をもつ）。

●昔は、生活が苦しかったが夢があった。しかし今は、生活は楽になったが夢がない。

●自信と誇りを持って農業を続けよう。

●完全農休日を取り、ゆとりをもつけよう。

●ゆとりはお金であって、乳価、個体価格を引き上げてほしい。

●などの意見が各分科会で討議されました。

懇談会では、全員によるゲームで会場は大賑わい、また、当婦人部では「中標津音頭」を披露し、盛り上げに一役かいました。

翌日は、「釧路湿原の自然そして保護」と題して、NHK釧路放送局ディレクター武田氏の講演会がありました。講演というより、TVで放映されたドキュメント「湿原は地球のオアシス」のビデオがほとんどでしたが、ホテルの大スクリーンで見ながら学ぶ講演もなかなか良いもので、最後に武田さんは、「今、世界中の湿原が失われつつあります。湿原を見直してほしい」と結んでいました。



中標津音頭を披露し会を盛り上げました

第40回全道農協青年部大会 設立40周年記念式典が開催

全道大会で
組織発表
高い評価
を得る

第四十回全道農協青年部大会並びに道農青年部設立四十周年記念式典が、十二月五日〜六日グリーンホテル札幌で開催されました。大会初日は、記念式典、記念講

大会テーマ「ヒューマン・ネットワークづくり」

七回全道農協青年部活動実績発表大会
ポジウム「WAI²」(北海道地上大会)



全道の盟友の前で発表する佐藤さん

演、記念パーティが行なわれ、全道から約八百人の盟友が参加。

記念講演では、北海道旭川出身で、まちづくりのプランナー、一村一品の元祖でもあり、全国五百余りの地方自治体の地域づくりの策定に参画し数々の実績を上げている、日本ふるさと塾主宰、萩原茂裕氏を講師に、「まちづくりは人づくり」と題した講演が行なわれ、人口五千人たらずの村が若い地元

青年たちの活躍で、今では日本一の村となった話しを中心に二時間の間、参加した盟友を魅了する講演となりました。

二日目は、朝八時三十分から組織活動実績発表大会が開催、全道六地区の青年部が発表、この中に中標津町農協青年部も根室地区代表として参加(発表者・佐藤敏氏)今まで活動を展開してきた内容と、成果、組織としてのあり方を中心、「大地に根ざした青年部」という題で発表しました。この大会出場までには管内大会を皮切りに約半月を費し、資料作り、練習と毎晩の様に集まり大変苦勞して作り上げたもの、当日はその成果が充分発揮され、発表者、スライドOHPの組み合わせもスムーズに行き、根室代表としての名に恥ない発表となりました。

結果については、おしくも最優秀には選ばれませんでした(最優秀・空知地区沼田町農協青年部)審査講評では、スライド、OHPの構成も良く、発表の内容についても評価の高い講評をいただきました。



平成3年度
生乳生産
目標を修正
道農協酪畜対合同会議

十一月二十五日に開催された道酪対、共販合同委員会において平成三年度下期生乳計画生産の推進方策、第二期（四、六年）生乳安定生産対策などを協議し設定されました。平成三年度の生乳計画生産は、当初目標前年実績対比一〇五・三％で推進してきたが、北海道の生産が四、十月累計で対前年比一〇五・三％となった。府県では生産が落ち込み四、十月累計で九十七・八％と前年を割っている。十月に実施した生乳意向調査で当初目標を上回る生産意向であることから、生産者の意向を下期目標（全道前年実績比一〇六・二％）として設定されました。目標の達成については、生産動向により必

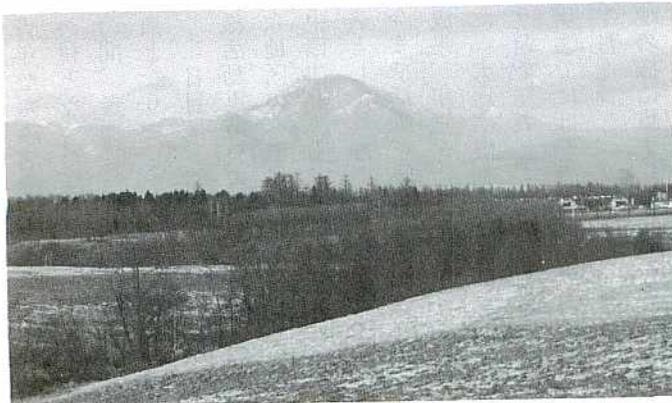
平成四年度営農指標も決定

要に応じて今年度中（四年一月、二月）にもう一度見直すことになっていきます。
第二期安定生産対策については、

- ①全道目標伸び率の一般枠を三％とする。
- ②一般枠の地区別目標数量を生産者意向に基づいて設定す

表1 平成3年度 修正目標数量及び平成4年度営農指標数量

農協名	平成3年度修正計画	対前年比	平成4年度営農目標	対前年比
標津町	60,725 t	106.2%	63,761 t	105.0%
中標津町	79,182	108.3	82,628	104.4
計根別	69,892	106.5	71,803	102.7
西春別	82,000	106.4	86,900	106.0
上春別	43,694	106.0	46,456	106.3
別海	136,423	107.2	144,600	106.0
中春別	86,545	105.2	90,007	104.0
根室	45,220	103.3	47,000	103.9
羅臼町	3,038	104.8	3,230	106.3
合計	606,719	106.4	636,385	104.9
全道	3,132,547 t	106.2%	3,286,885 t	104.9%



る。③一般枠の外に「新規枠」「特別枠」を設定することになります。平成四年度営農計画策定にあたっての指標は、十月の生乳生産意向調査結果に基づく、生産者（農協）意向数量によることに決定されました。
なお、全道目標数量は全国的な計画生産により、例年通り平成四年五、六月に設定することになります。

理事会

の経過

第十回理事会

開催日時 十二月十七日
開催場所 農協中会議室

〈議案〉

- 一、貯金業務規程の改正について
- 二、金利設定会議要領の改正に伴う諸規程の改正について
- 三、組合員の加入、脱退及び減口について
- 四、各種資金の借入申込及び条件緩和について
- 五、平成四年度営農計画樹立について

- 六、固定資産の取得について
- 七、営農資材（農薬）特別対策について

〈協議事項〉

- 一、平成三年度、組勘中間協議後の状況について

〈報告事項〉

- 一、平成三年度、下期生乳計画と平成四年度の生乳計画生産について

- 二、澱粉工場の操業実績となかしべつフーズ(株)向け加工用馬鈴しよの受入選別実績について

- 三、臨時職員採用について
- 四、年末、年始の行事予定について

- 五、コンピューター電源工事について
- 六、その他



感熱紙が使用済みになっても、いくらか残ってしまうのがおもしろくない！と、残った感熱紙をセロテープでつないで使用し、紙詰まりを起こして、ファクシミリの中がぐにやぐにやになったという話を聞きました。

なるほど確かに不経済。いや、枯渴しつつある森林資源の保護を考えても、精神衛生上よろしくありません。なにかよい利用法がないものでしょうか。ちなみに筆者は、ワープロのテスト印刷に使用していますが、別にアイデアがありましたらぜひ一報を。

さて、みなさんのファクシミリ操作の上達を目的としました例のクイズですが、予想外の反響に驚いています。

「解答率三〇%くらいかな？」と、たかをくくっていたところ、なんと一八二人（六〇%）の解答が寄せられました。ヒュー（うれしい悲鳴）。

採点は操作方法四十点、クイズの解答六十点で計算しました。

神業賞：加茂正毅さん 九十二点
達人賞：熊谷 正さん 八十八点
優秀賞：竹村満夫さん 八十四点

望月幸夫さん 同点
太田直行さん 同点
秋山久雄さん 同点
山崎 隆さん 同点
飯野盛次さん 同点

なお、優秀賞は当初三人の予定でしたが同点が六人おり、優秀をどうしてもつけがたく六人となりました。

このクイズで五つの操作をマスターすることができま

- ①ファクシミリの受信
- ②情報箱からの取り出し
- ③農協への送信
- ④私書箱の取り出し
- ⑤ですがこのクイズ実は

たいへんイジワルなシカケがありました。クイズの返送は取りだした解答用紙を、再度ファクシミリに挿入するように仕組まれていましたが、印刷された感熱紙を挿入するのは非常にむずかしいのです。クイズの採点結果「神業賞」をのがしたみなさんも、操作に関しては大先生です。

貴重な「組合だより」の紙面を間借りさせていただきました「解決FAXコーナー」ですが、みなさんの操作の上達で、その使命をはたしました。操作でわからないところは、お隣のファクシミリ大先生が必ずこたえてくれることでしょう。長い間ありがとうございました。

今月の フオスト



姿勢も正しく、つまみも、なかなかいい感じです

この日だけは、ちよつとおしとやかに。

農協婦人部華道教室が、いけばな未生流師範田中吉子先生を招き開講されました。十一月二十二日から農協会議室で四回にわたり実施いたしました。回を重ねるとに受講者は増え四十五人にもなり、いつもは殺風景の会議室も華、華、華と華一色に染まっていました。受講者は初心者という方が

ほとんどでしたが、「毎週この華道教室に来るのが楽しみで」と一週間が待ちどおしい部員たち。田中先生の優しい指導で、ハサミを持つ手もすっかり様になった二十日には、お正月のお華を生けて教室を終了。自分の生けたお華が、家に飾ってある今年の正月はひと味ちがうものでしょう。

寒さの中で豆詰作業。

毎年恒例となりました婦人部豆の共同購入を今年も実施し、十二月十二日注文された方に引き渡しを行ないました。当日は手もかじかむような寒さの中、山積みされた大袋の豆を一匁ずつ袋詰めする作業は、それは大変な作業でしたが、手際良い流れ作業により、予定通り午後からは注文された方へ

の引き渡しを行ないました。寒い中、皆さんどうもご苦労様でした。今頃あの豆たちは甘く煮込まれ、



寒い中、豆詰め作業に苦勞様

婦人部豆の共同購入



婦人部華道教室



詰め終わったたくさんの豆・豆・豆

おいしいおせち料理に変身したことでしよう。

アイルズ

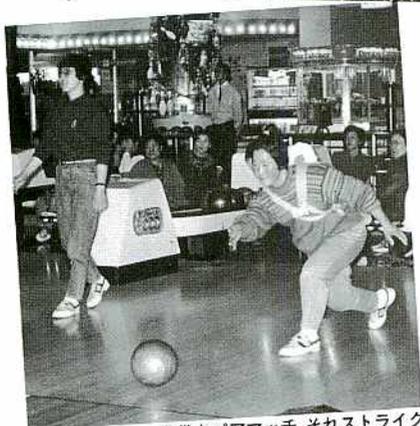
中年パワーが大爆発!!



まだまだ若妻には負けられませんよとーパワー

みんなそれぞれ健闘しましたが、今回は若妻パワーを押さえつけ、優勝は協和の永谷節子さん、準優勝には協和の佐藤なみ子さんと中年パワーが大爆発。

午後からは、農協で理事者との懇談会を実施し、農協に対する要望や婦人の役割についてなど話し合われました。



子供とベアマッチ、それストライク

婦人部ボーリング大会
二十代から四十代の部員四十九人が参加したボーリング大会。参加した部員は年代関係なしに皆ハッスルし、ストライク狙って投球。

みかんの実が狂いなり。

北光地区の八木原明治郎さん宅のみかんの木に、今年みかんが二度もなりました。

このみかんの木は五年前、群馬県の親戚からもらって来た、高さ五十センチほどの植木鉢に植えた小さな木。もらって来た翌年から二〜三個の実を付けたそうです。今年も、二月初めに黄色い実が五個なり、それを取った後、五月

ころからみかんの木をビニールハウスの間に移したところ、またすぐ花が咲き三個の実がなった。今では黄色く色づき、ちょうど食べごろです。

「異常気象で花が二度咲きすることはあるが、まさか実が二度なるとは」と、驚く八木原さんでした。



黄色く色づいたみかんは、とてもおいしそう

12月の 組合日誌

- 3日 第5回営農委員会
- 5日 馬鈴しよ振興会役員会
- 6日 婦人部華道教室
- ” なかしべつフーズ取締役会
- 9日 第3回酪農委員会
- 16日 第6回営農委員会
- 17日 第9回理事会
- 19日 酪対役員会
- 27日 第10回理事会



年始の業務日程のお知らせ

休業

業務名	営業、休業日程						
	1日(木)	2日(木)	3日(金)	4日(土)	5日(日)	6日(月)	7日(火)
一般業務							平常業務
貯金・クミカン						平常	
A T M				午後2時まで		平常	
ストアー						平常	
給油所(農協前、桜ヶ丘)				桜ヶ丘 午後6時迄		平常	
人工授精				平常(受付午前10時まで)			
乳質検査 (体細胞、抗菌性物質)				平常		平常	

畜産販売関係業務 1月7日 初生トク、血清、集荷。
1月8日 ホクレン家畜市場、初セリ。

編集後記

新年明けましておめでとようございませう。
組合員皆様におかれましては、平成四年のお正月をご家族お揃いで迎えていることと思います。

昨年は、牛肉自由化の影響により、酪農にとっては大変大きな打撃を受けた年、畑作についても収量的にはまあまあでしたが、年明け早々結論が出るガット・ウルグアイ・ラウンドの交渉如何によっては、日本農業の危機さえ感じられます。いったい私たち農業者が何をしたというのでしょうか？ 諸外国に対しても、国内においてもけして悪い事はしていませんし、酪農が？ 農業分野では肥料、飼料など諸外国からほとんど輸入し、外国経済を逆に助けていると思うのですが、いったい日本経済はどこで歯車が狂っているのでしょうか。

今年は申年、さるにちなんだ言葉に見ざる、聞かざる、言わざるというのがあります。今年には視野を広げ、幅広い情報を聞き、建設的な意見を言えるような、歯車のがつちり噛み合った組織作りを目指したいと思います。